

1. 組織名

日本経済団体連合会 TPPプロジェクトチーム

7. 提出意見⑥

該当する交渉分野

TBT

意見

(1) WTO TBT 協定をベースに、規格の調和、規格の相互承認(同等性評価)、適合性評価結果の相互承認などを推進すべきである。さらに、規格の新設・変更時の適正手続および施行までの十分なリードタイムの確保などについても規定すべきである。

[上記を求める理由・根拠となる具体例]

1-1 環境や安全法規が、十分なリードタイムを設けずに導入されることがある。また、導入予定の法規が最終段階で中止されることもある。

1-2 メキシコでは、2011年9月から186品目に渡り、消費電力量のラベル表示規制が導入されたが、未だに消費電力量の測定規格が指定されておらず、表示される数値の統一性がない。対象製品カテゴリーの絞り込み、試験方法や消費電力量の算出方法について一般的に使用されている既存の国際規格との整合が必要。